

自立活動 分野別 指導プログラム (分野 C コミュニケーション・言葉)

分野の目的	コミュニケーションの能力を高める。 日本語の獲得を目指し、聴覚障害幼児・児童・生徒に適した手段で言語習得を図り、読み書き能力を高める。		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の発達段階、聴力レベル、聴覚活用の状態、障害の状態などに合わせて指導する。</li> <li>・子供の教育歴の違いに応じて、指導の始まりの段階を考える。</li> <li>・子供の言語力・コミュニケーション力の評価を客観的に行い、指導の目安とする。</li> </ul>		
項目 学年	手段	コミュニケーション・ことば	
ステップ I 保育相談部	身振り 手話・指文字 読話・聴覚活用・口話	0歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話しかけられると、じっと顔を見る。</li> <li>○生活や遊びの中で声を出す。</li> <li>○簡単な指示がわかる。</li> <li>○親子のやりとりを楽しむ。</li> <li>○要求を指さしや身振り、表情などで表す。</li> <li>○簡単な動作の模倣をする。</li> <li>○擬声語・擬態語をいくつか理解する。</li> <li>○あいさつの手話がわかり、使おうとする。</li> <li>○要求を手話で伝えようとする。</li> <li>○生活の中のいろいろなものに目を向け、変化や違いに気づく。</li> <li>○慣れた人には、自分から近づいたり、話しかけようとしたりする。</li> <li>○擬声語・擬態語を自分から表出する。</li> <li>○身近なものの名称に関する理解語が増える。</li> <li>○動作に関する理解語が増える。</li> <li>○理解語をいろいろな方法で表出する。</li> <li>○友達や教師の名前を理解する。</li> <li>○簡単な2、3語文を理解する。</li> <li>○手話に合わせて口が動き、声が伴う。</li> </ul>
		1歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し手の動きを模倣しようとする。</li> <li>○具体物と絵のマッチングをする。</li> <li>○身近な人の声や身振りをまねる。</li> <li>○指さしや身振りに声が伴う。</li> <li>○家族の呼び名やものの名前がいくつかわかる。</li> <li>○要求を音声言語で伝えようとする。</li> <li>○話し手を注視しようとする。</li> </ul>
		2歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○簡単な口形模倣をしようとする。</li> <li>○手話や動きに抑揚のある声が伴う。</li> <li>○簡単な問いかけに答える。</li> <li>○簡単な指示が身振りでわかる。</li> <li>○日常生活に必要な簡単な言葉を理解する。</li> <li>○手話の理解語が増える。</li> </ul>
ステップ II 幼稚部	身振り 手話・指文字 読話・聴覚活用・口話	3歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○口形や音節数をあわせて口声模倣をする。</li> <li>○日常生活に必要なことばを使う。</li> <li>○したいこと、してほしいことをことばで表現する。</li> <li>○2、3語文の口声模倣をする。</li> <li>○要求や経験を簡単な文の形で表現する。</li> <li>○問いかけのことばを理解する。</li> <li>○問いかけに対して、単語や簡単な文で答えることができる。</li> <li>○絵や文字を手掛かりにして経験したことを簡単な文で話す。</li> <li>○自分の考えや経験を、身振り、手話、指文字、音声言語などで伝えることができる。</li> <li>○会話の中で身振り、手話、指文字、音声言語などを使い、友達とのコミュニケーションを楽しむ。</li> <li>○助詞を含む3、4語文の口声模倣をする。</li> <li>○疑問を持ったことについて、適切な問いかけの文で話す。</li> <li>○身の回りのことや出来事について話すための動作語を用いて話す。</li> <li>○空間、位置、順番を表す言葉を使う。</li> <li>○想像したり空想したりしたことを話すことができる。</li> <li>○やりもらい文で話すことができる。</li> <li>○絵本等のストーリーを理解し、イメージを広げたり想像したりできる。</li> <li>○友達の名前等よく目にする文字に興味を持つ。</li> <li>○文字と絵のマッチングができる。(カルタ・スリーヒントクイズなど)</li> <li>○書かれた文字を読むことができる。</li> <li>○5語文程度の文の中で正しく助詞を使う。</li> <li>○重文で話す。</li> <li>○簡単な単語や短い文を読み、だいたいの内容がわかる。</li> <li>○複文で話す。</li> <li>○「～れる」、「～られる」を使って、助詞を含む受け身の表現ができる。</li> <li>○言葉を別の言葉で説明できる。</li> <li>○友達の話に注意を向け、その内容を理解しようとしたり、問い返したりする。</li> <li>○話し合う話題に沿って発言し、話が逸れても戻ることができる。</li> <li>○経験したことを順序立てて話すことができる。</li> </ul>
		4歳	
		5歳	

		手段	コミュニケーション	言葉
ステップⅢ	1・2年	手話・指文字 読話・聴覚活用・口話	筆談	
小学部			<p>○話し手を注視して聞く。</p> <p>○多様なコミュニケーション手段があることを知る。(手話・口話・指文字・筆談など)</p> <p>○手話語彙(生活言語)を増やす。(手話歌)</p> <p>○自分の意思が伝わるように工夫する。(伝言・伝達ゲーム)</p> <p>○簡単なルールを理解して、言葉遊びやゲームを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぞなぞ</li> <li>・クイズ</li> <li>・ビンゴゲーム</li> <li>・フルーツバスケット</li> </ul> <p>○語彙の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節のことば</li> <li>・行事に関することば</li> <li>・オノマトペ</li> <li>・上位概念</li> </ul> <p>○言葉遣い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙や招待状を書く</li> </ul>	<p>1年&lt;上&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①人や場所の名前が分かる</li> <li>②指示の違いが分かる</li> <li>③擬声語・擬態語が分かる</li> <li>④読話に慣れる</li> <li>⑤「だれ」</li> <li>⑥「なに」・読話が進む</li> <li>⑦「どこ」・自発的な発話</li> <li>⑧動詞の過去形・二語文模倣</li> <li>⑨「どうしたの」・一～二語文作り</li> <li>⑩「何をしているの」・二文節模倣・身近な言葉</li> <li>⑪話し合いの習慣・疑問詞を使う・身体名称等</li> <li>⑫昨日/今日/明日の曜日・天気</li> <li>⑬「だれが」「何を」「どうしている」三語文</li> <li>⑭「～が～した」「～を～した」</li> <li>⑮ロングアンサー・「～てから」・序数詞</li> </ol> <p>1年&lt;下&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①格助詞「を」「で」「どんな」・形容詞の連体形・名数</li> <li>②買い物での会話・「どこへ」「～がいる」「～がある」</li> <li>③「いつ」「どこで」「何をした」等・曜日の順序</li> <li>④格助詞「へ」「で」「と」・感情表現「困ったなあ」等</li> <li>⑤「どうして」「どんなふうに」・擬態語を使う</li> <li>⑥格助詞「で」「に」「～でもいい」・形容詞/動詞</li> <li>⑦時間的順序に従って想像したことを話す・劇化</li> <li>⑧5W1H・「～とき」「～から」・指示語「これ」</li> <li>⑨会話交じりの叙述文・順序を表す言葉</li> <li>⑩時に関する語句・「どんな気持ち」「～ことがある」</li> <li>⑪やりもらい文・「～もの」・視写できる</li> <li>⑫指示代名詞「これ」「そこ」・詳しく順序立てて話す</li> </ol> <p>2年&lt;上&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「のは」「に」「で」「もの」「には」</li> <li>②「ので」「から」「してもらう」「より」・動詞の時制(常体・敬体)</li> <li>③「もし～したら」「それから」「～て」「すると」</li> <li>④「～と」「～たり～たり」「なんのため」</li> <li>⑤「～を～てあげる」「～てやる」・順序良く話す</li> <li>⑥「だけど」「やっ」と「なかなか」「～うとする」・動詞の肯定形/否定形・要領よく説明する</li> </ol> <p>2年&lt;下&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「どうしてか」というと」「～し～」「だって」・助詞「が」「を」「に」「で」・「～のだそうです」「～がる」</li> <li>②「～たらどうするの」「～ばいい」「～か～て」・道案内ができる・おつかいにいける</li> <li>③「～たら」「～も」・他動詞/自動詞・年賀状</li> <li>④「しばらくして」「まもなく」「すぐ」「～はず」「いつも」「ときどき」・「～をどうする」「～がどうなる」</li> <li>⑤「～ころ」「～とき」「あとで」「いま」・「～ている」</li> </ol>

\* 文の構造上の種類 \*

(1) 単文…主語と述語が、それぞれ一つしかない文。

【例】花が 咲く。

(2) 複文…主語と述語のある文の一部分に、更に主語と述語を含んでいる文。

【例】私は、雨が 止んでから 出かけた。

(3) 重文…単文が、二つ以上つながって、一つの文になっている文。

【例】鳥が 鳴き、花が 咲く。

出典：三省堂 例解小学国語辞典

<p>3・4年</p>	<p>手話・指文字</p>	<p>読話・聴覚活用・口話</p>	<p>筆談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○イメージを持って聞く。</li> <li>○手話語彙（学習言語）を増やす。 （手話歌）</li> <li>○相手に正確に伝える工夫をする。 ・ゲーム等の説明をする</li> <li>○読話の習慣が付き、わからないことを尋ねる。</li> <li>○友達同士のやりとりができる。</li> <li>○テレコミュニケーション（電話・ファックス）・電子メールの方法を理解し、使うことができる。</li> <li>○語彙の拡充</li> <li>○言葉遣い ・手紙や招待状を書く</li> </ul>	<p>3年&lt;上&gt; ①「～たり～たり」「～ながら」・敬語 ②「～そうです」「～ても～ません」・形式名詞 ③様々な言い回し・文章の読み取り ④複合動詞・説明文の読み取り ⑤「～ようだ」・自分の経験と比較しながら読む ⑥「形容詞+そうです」・同音異義語（動詞）</p> <p>3年&lt;下&gt; ①「動詞+らしい」・自動詞・他動詞 ②「～れる」「～られる」・年賀状 ③なぞなぞ・四語を使った文 ④「～せる」「～させる」・順序を表す言葉 ⑤「～がくれた」「～にもらった」</p> <p>4年 ①登場人物の気持ち・「～だけ」 ②句読点・「～ある」「～いる」 ③「っ」のつく言葉・常体・敬体 ④図と文の読み取り・「～ことがあります」 ⑤常体の文・「ん」のつく文 ⑥「形容詞+かった」・動詞の活用 ⑦指示語・イ音便 ⑧「動詞+ない」・「～がなかったら～」 ⑨接続詞・「上二段活用動詞+ない」・複合名詞 ⑩気持ちを綴る・「～よう」「～う」 ⑪行間を読む・「～ようです」 ⑫「なぜか」「どうしてか」・「～らしい」 ⑬音を言葉で表現する・外来語・「行くと来る」 ⑭「～しか～ない」「～に～された」 ⑮話の推移を読み取る・動詞の活用</p>	
<p>5・6年</p>	<p>手話・指文字</p>	<p>読話・聴覚活用・口話</p>	<p>筆談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の気持ちを考えながら聞く。</li> <li>○手話語彙（学習言語）を増やす。 手話歌</li> <li>○日本手話と日本語対应手話について知る。</li> <li>○相手や場に応じたコミュニケーション手段を使って意思を伝えたり、あいさつをしたりする。</li> <li>○正確に伝える工夫をする。 集会 交流会 行事</li> <li>○問いかけに、考えながら、自分のことばで答えることができる。</li> <li>○話し合い活動に参加することができる。</li> <li>○新しく覚えた言葉を生活や日記の中で使いこなそうとする。</li> <li>○聴者と筆談をする。</li> <li>○語彙の拡充</li> <li>○言葉遣い ・手紙や招待状を書く</li> </ul>	<p>5年 ①「うかぶ」「ぬける」・形式名詞「ところ」 ②「が」と「に」の違い ③メモを取る・「～ばかり」「～か～だ」・副詞 ④動詞「みる」・助詞「って」・副詞の呼応 ⑤連用修飾語・連体修飾語・「どんな」「どんなふう に」 ⑥要約・「～してもらう」「～してあげる」 ⑦連体修飾語で作文 ⑧国語辞典・「その中に」「そのほかに」 ⑨類推しながら読む・「の」「のに」「ので」 ⑩「なぜ」「どうして」・「～は～もの、～は～もの だ」 ⑪「このことから」要約・形式名詞入り作文 ⑫「～する」動詞・「～できる」「～なる」 ⑬接続助詞「～から」「～なので」・「それでも」 ⑭形容動詞の活用・指示代名詞・副詞</p> <p>6年 ①「言う～」複合動詞・敬語作文・ 「～ながら」「～てから」「～ただけ」 ②主語と述語の関係・重文・複文 ③漢字辞典・要約・「～だけ」「～も」 ④マークの表す意味（言葉）・「～という」 ⑤「～てみる」補助動詞・指示語 ⑥事実と想像の読み取り・手指の動きに応じた言葉 ⑦格助詞・よい表現・メモ作文 ⑧接続助詞「～し」「～と」 ⑨文章の構成・「まず」「ところが」「このように」 ⑩心情を表わす形容詞・時制・「かける」 ⑪指示代名詞・「これから」「それに」・能動・受動 ⑫要約・助動詞「ようだ」「よう」 ⑬長文読解・「～ようになる」</p>	

		手段	コミュニケーション	言葉		
ステップ IV	中学部	手話・指文字	読話・聴覚活用・口話 筆談	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーション手段の種類について知る。(手話・指文字・読話・聴覚活用・口話・筆談)</li> <li>○指文字について学ぶ。(表現・歴史)</li> <li>○手話を学び、手話語彙を増やす。(同音異義語・対義語、類義語、対の語、形の似ている単語、教科名など)</li> <li>○携帯電話のマナーと危険性について学ぶ。(LINE Instagram Facebook Twitter 写真の扱い等)</li> <li>○行事の中で用いられることばは、手話・指文字で確実に表すことができる。(体育大会・文化祭・スキー教室等)</li> <li>○他者の手話を正確に読み取る。</li> <li>○自分の読話の力について知る。</li> <li>○他者にわかるようにコミュニケーションを工夫する。(対聾者、対聴者)</li> <li>○手紙(お礼状等)・FAXを用いてコミュニケーションができる。</li> <li>○携帯電話やパソコン等を用いて、Eメールのやりとりができる。</li> <li>○面接等での適切なやりとりができる。</li> </ul>	生活文 I <ol style="list-style-type: none"> <li>1 TPOに応じたあいさつ</li> <li>2 メモを取る・ハガキを書く</li> <li>3 掲示物の示す意味</li> <li>4 小づかい帳をつける</li> <li>5 標識や表示の示す意味</li> <li>6 自分の言葉に責任をもつ・言葉の使い方</li> <li>7 連絡のし方(電話・Fax・メール)</li> <li>8 標語の示す意味・標語をつくる</li> <li>9 心を伝える言葉づかい</li> <li>10 旅行計画を立てる</li> <li>11 慣用句とことわざの意味・使い方</li> <li>12 TPOに応じた人の呼び方・言葉づかい</li> <li>13 相手の意図・気持ちを察する</li> <li>14 領収書・口座・金融機関などの用語</li> <li>15 同音異義語・上位語・下位語</li> </ol>	漢字検定 英語検定 数学検定 読字力検査 今週のニュース
				文法 II <ol style="list-style-type: none"> <li>① 文・文章・段落</li> <li>② 普通の言い方と丁寧な言い方</li> <li>③ 打ち消しの言い方</li> <li>④ 時を表す言い方</li> <li>⑤ 様子をくわしく述べる言い方</li> <li>⑥ 文の組み立て方</li> <li>⑦ 文をつなぐ言葉の言い方</li> <li>⑧ 感動を表す言葉の使い方</li> <li>⑨ 願望を表す言葉の使い方</li> <li>⑩ 言葉をつなぐ単語の使い方</li> <li>⑪ 文の終わりに添える言葉の使い方</li> </ol>	※聾学校用国語言語編 活用	

		手段	コミュニケーション	言葉		
ステップ V	高等部	手話・指文字	読話・聴覚活用・口話 筆談	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校生活において伝えたいことを手話や指文字で表現できる。相手の話の内容を理解する。</li> <li>○互いの障害の状況を理解する。</li> <li>○自分の気持ちを整理して相手に伝えることができる。</li> <li>○コミュニケーションツールの正しい利用法を学ぶ。(LINE Facebook Twitter 等)</li> </ul>	語彙の拡充① <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな比喩表現</li> <li>・日常生活における決まり文句、遠まわしな言い方</li> </ul> 語彙の拡充② <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の話題や時事問題に関する言葉や表現</li> </ul> 言葉遣い① <ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼、謝罪、伺いをたてるときの言い方や態度</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な手話表現ができる。</li> <li>○場や相手に応じてコミュニケーション手段を選択できるようにする。</li> <li>○コミュニケーションで困難な場面での設定を劇化し、どのように解決するか考える。</li> </ul>	内容の要約① <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の伝えたいこと</li> </ul> 言葉遣い② <ul style="list-style-type: none"> <li>・場に応じた言葉遣い</li> </ul> 内容の要約② <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモをとる習慣</li> </ul> 就職・就労に向けて① <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな職業名や仕事内容を知る</li> <li>・就業体験で必要なあいさつ</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>○交流活動を通じてコミュニケーション能力を高める。</li> <li>○電話、パソコン、FAX、携帯電話などを活用して、TPOにあわせた適切なコミュニケーションを選択できる。</li> <li>○ズームなど遠隔のコミュニケーション手段を知る。</li> <li>○社会に出た時の要望の伝え方を学ぶ。</li> </ul>	内容の要約③ <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事やニュースの要約</li> </ul> 就職・就労に向けて② <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己アピール文や履歴書の書き方</li> <li>・各種申込書の書き方</li> <li>・面接時に必要なあいさつ</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>○分からない時の対処法を学ぶ</li> <li>○社会常識やマナーを守ってコミュニケーションができる。</li> <li>○場面や相手に応じて適切なコミュニケーション手段を用いる。</li> </ul>	言葉遣い③ <ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙文の書き方</li> <li>・日常生活における決まり文句、遠まわしな言い方</li> </ul>	